

## ■ご挨拶

# 洋上風力元年に際して

日本風力発電協会 理事 **吉田 悟**  
株式会社 北拓 取締役副社長



### はじめに

引き続き理事の職を拝命いたしました株式会社北拓の吉田で御座います。

今年は港湾法が改正され港湾エリアでの洋上風力のルールが確定し、また一般海域でのルールの議論も始まり本格的な洋上風車の元年と言える年です。

我が国の洋上風力は欧州より 15 年程遅れておりこれからが正念場と思われま

す。風力事業全般に言える事ですが、特に洋上風車に於いては地元自治体や地元関係団体、企業と連携をとり単に風力発電で発電事業を営む事では無く、立地頂く地元如何に産業集積させるか、雇用を確保するか等を考えて行かなくては地元の理解を得られないと考えられます。

国内に限らず台風通過エリアである我が国の特異性を生かし、他国の洋上風力事業にも生かせるものと確信しております。

港湾インフラの整備や建設時の特殊船の問題、建設後のメンテナンスの問題等解決して行かなければならない問題もありますが、これらを解決し洋上風力発電を確実に導入させなければならぬと考えております。

もう一つの大きな課題は陸上風車も FIT 価格が段階的に下がってゆく事が決定し、今後も自立した電源として運営できる様、風車メーカー、部品サプライヤー、メンテナンス会社等が協力してコスト低減し努力して行かなければならないと思います。

### 当社としても

メンテナンス会社として洋上風車のメンテナンスをどの様に実施して行くのか？サイトの海上条件に合ったメンテナンスとは？如何にアベイラビリティを高めて行くのか？等をテーマとしてより実践的な研究をして今まで陸上風車で培ってきたスマートメンテナンス技術や大型部品の補修技術、部品ストック機能、予防保全技術、部品高度化技術等を洋上

風車で実用化出来る様に完成させて行きます。

また、人材育成については業界としても大きな課題でありどの様に技術者を増やして行くのかが大きな課題であります。社内研修施設を充実させる事にも積極的に取り組んで行く計画です。

### 最後に

我が国の風力発電に関する技術が世界でも通用する技術となる様、努力して参る所存で御座いますので、引き続きご指導の程宜しくお願い申し上げます。



北九州支店 (2016年9月完工)  
トレーニングセンター兼倉庫



24時間遠隔監視センター



デンマーク Esbjerg 港で出港待ちの Vestas V112 3.3MW ナセル2機 (北九州市若松区に 2017年12月設置予定)